

放射性セシウムを 水稻に吸収させない 対策をしっかりと！

① 加里質肥料を施肥しましょう

旧日光町、旧今市町

塩化加里 20 kg/10a

左記以外の日光市

塩化加里 10 kg/10a

(作付前に通常の基肥肥料に加えて施肥)

【東日本大震災農業生産対策交付金(放射性物質吸収抑制対策)対象市町】
(水稻) 日光市

その他の地域

土壌加里濃度 25 mg/100g を目標として、加里を増肥する
塩化加里の増肥量(kg/10a) = (25 - 土壌の交換性加里濃度(mg/100g)) ÷ 0.6
(黒ボク土の場合。灰色低地土の場合は、上記式 × 1.35。)

② 15 cm 以上 深耕しましょう

深く耕すことにより放射性セシウムが土壌に固定され、さらにセシウムが拡散するので、根によるセシウムの吸収量が少なくなります。

③ 倒伏させない稲づくりをしましょう

倒伏すると土が収穫物に付着する危険性が高まります。多肥栽培を避け、生育に応じた適正な水管理を実施するなど、倒伏させない稲づくりをしましょう。

④ 土が混入しないように注意しましょう

収穫、乾燥、調製作業において、農機具等の清掃を徹底し、粃や玄米に土が混入しないように注意しましょう。